道徳の時間学習指導案

福山市立旭小学校
指導者 小川 美幸

- 1 日時 平成14年12月10日（火）
- 2 学年 第3学年 小川学級 23名
- 3 場所 3年 小川学級
- 4 主題名 自ら進んで 4－（2）勤労
- 5 ねらい 働くことの大切さに気付き，進んで働こうとする態度を育てる。
- 6 資料名 「雨の日のチャボ当番」（日本標準 一部改作）
- 7 主題設定の理由

- 人間として生きていくには，仕事に誇りと喜びを見いだし，生きがいをもって仕事に取り組めることが大切である。働くことは，単に自分が生活していくためだけではなく，自分に課された社会的責任を果たすという意味においても重視する必要がある。そのことを通して，社会に対する奉仕や公共の役に立つ喜びをも味わうことができる。中学年の段階では，働くことの楽しさや喜びの体験を積むことによって，力を合わせて仕事をするものの大切さを理解し，進んで働こうとする態度を育てる必要がある。家庭や学校の場において，与えられた責任や役割だけではなく，自ら進んで物事に取り組んでいこうとすることが大切であると考ええる。
- 本学級の児童は，掃除や給食当番，係活動に一生懸命に取り組み協力しながら行っている。そして，忘れていた児童や責任を果たしていない児童に声かけをすることもできる。しかし，「できればしたくない」「だれかがするだろう」「しんどいことはしたくない」などの思いから，掃除道具や内容を選んだり，簡単に早く終わらせようしたり，給食準備や後片付けを傍観したりしている実態がある。また，与えられたことは最後までやろうとする態度が見られるが，自ら進んで働こうとする児童は少ない。
- 資料「雨の日のチャボ当番」は，降り始めた雨の中でのチャボ当番活動を題材としたものである。始めはいやだなあと思っているながら床の掃除や餌替えに当番の4人が取り組み，雨と糞と餌に汚れた床を掃除しているうちに段々ときれいになり，今までこびりついてきた分までとれたような満足感を覚える資料である。指導にあたっては，一生懸命に働いたことによって，満足感と成就感を得ていく場面を大切に扱いたい。そして，やりたくないと思っていた小屋の掃除であったが，自分たちの体験を通して，雨に濡れることさえも気にならなくなった心情の変化を十分に考えさせたい。また，本授業後には，学級活動などを通して働くことの大切さを話し合い，学期末の行動や冬休みにおける家庭での役割について考えさせていきたい。

- 8 準備物 板書用掲示物 ワークシート 役割演技用小物

9 学習展開

	学 習 活 動	主な発問と予想される児童の反応	支援○と評価☆
導 入	1 今までの手伝いや仕事について発表する。	○今までどんなお手伝いや仕事をしたことがありますか。 ・お米洗い，食器洗い。 ・掃除，洗濯 ・お買い物。	○児童の体験を想起させる。
展 開	2 資料「雨の日のチャボ当番」を聞いて課題をつかむ。 3 話し合う。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> みんなの気持ちはどうかわっていったのでしょうか。 </div> ○最初チャボ当番をどう思っていたか，発表しましょう。 ・いやだなあ。 ・雨が降っているからしたくないなあ。 ・小屋の中も汚いだろうなあ。 ○小屋の掃除で大変なことはどんなことでしょうか。 ・糞と餌と雨で床がぬるぬる。 ・臭い。 ・雨でぐちゃぐちゃ。 ・チャボの追い出し。 ・床の掃除。 ・餌替え。 ○やりたくないと思っていたのに，掃除を始めると自分が濡れることなんて気にしなくなった気持ちや様子を発表しましょう。 ・やっと小屋の板が出てきた。 ・こびりついていたぶんまでとれた。 ・おさらもきれいになった。 ・チャボが喜ぶ。	○掃除に対する登場人物の気持ちをつかませる。 ○掃除をする小屋の様子についてつかませる。 ○床の掃除の大変さについて把握させる。 ○一生懸命に働いたことによって，徐々にきれいになっていく小屋の様子と気持ちを役割演技で表現させる。 ☆働くことの大切さに気付いているか。
開 閉	4 働いてよかったと思うことを話し合う。	○今まで，学校や家でいやだなあと思いつつしながらしていたことで，今日学習をしてやってよかったということがありますか。 ・お風呂掃除 ・食事の支度や後片付け	○児童の体験から，考えさせる。
終 末	5 まとめをする。	○働くことについて，自分が思ったことを書きましょう。	○ワークシートに書かせ発表させる。 ☆進んで働こうとする態度が伺えるか。

道徳の時間学習指導案

福山市立旭小学校
指導者 倉田 瑞穂

1 日 時 平成14年12月10日(火)

2 学 年 第3学年 倉田学級 23名

3 場 所 3年 倉田学級

4 主題名 働くことの大切さ 4-(2) 勤労

5 ねらい 働くことの大切さに気づき、進んで働こうとする態度を育てる。

6 資料名 「ビーバーのムクちゃん」 (文溪堂)

7 主題設定の理由

○ 人間が人間として、より人間らしく生きようとしたときに、勤労というものは欠くことのできないものである。また、円滑な社会生活を営むためには、一人一人が社会の一員としての役割を自覚し、果たしていくことが必要とされる。

中学年の段階では、頼まれたから仕方なく働いたり、報酬を期待したりと、働くことの満足感、自分の仕事人が人のためになっているという喜びは少ない。そこで、この時期から、働くことの楽しさや喜びの体験を積むことによって、力を合わせて仕事をするものの大切さを理解し、進んで働こうとする態度を育ていくことが大切である。

学級では、掃除当番や給食当番など、班を中心に働くことが多い。そこで、一人ひとりが自分の役割を責任を持って果たし、進んで働くことが、自分たちのクラスをよりよくすることにもつながるということを理解し、勤労に対する自覚を深めることが大切である。

○ 本学級の児童は、日直、給食当番、掃除当番、係の仕事など、自分に与えられた仕事においては、きちんとやらなければならないと意識はしている。しかし、掃除を途中やめにして遊んだり、飽きて人に任せたりと、最後までやり抜くことがなかなかできない。また、自分の担当の掃除が早く終わっても、まだ終わっていない班を進んで手伝うということがなかなかできず、声をかけられて仕方なくやったり、教室や廊下に落ちているゴミを「自分がしたのではない。」と、見て見ぬふりをしたりと、自分から進んで働いたり、人より余計に働くのは損だという考えがある。また、給食当番で他の当番が準備をやっているのに自分一人だけ遊んだり、周囲の状況を見て自分から進んで働くことは少ない。

○ 資料「ビーバーのムクちゃん」では、やがてやってくる冬の準備のため、ムクちゃんが、お父さんとお母さんにお手伝いを頼まれたのだがつい遊んでしまう。しかられてしょんぼりしていたムクちゃんだが、お父さんとお母さんの一生懸命働く姿を見て心を動かされ、仕事の大切さに気づき、最後には進んで働き始め、きちんと自分の役割を成し遂げるといふ資料である。

指導にあたっては、手伝いをしないで遊んでしまったムクちゃんの気持ちから、一生懸命に働くお父さんとお母さんの姿を見て、自分の仕事を最後までやり遂げた行為に及ぶ気持ちの変化を、役割演技をすることによって、ムクちゃんの立場になって読みとり、その背後にある働くことの大切さを考えていきたい。

また、本授業後には、学級や学校生活の中で自分の役割について考えさせ、掃除当番などの学校での仕事や家でのお手伝いなどにつなげていきたい。

8 準備物 板書用掲示物 ワークシート 役割演技用小物

9 学習展開

	学 習 活 動	主な発問と予想される児童の反応	支援○と評価☆
導 入	1 絵を見てビーバーについて知っていることを発表する。	○これは何でしょう。 ・ビーバー ・ビーバーの巣 ・ダム	○ビーバーについて知っていることを発表し、資料に対して興味付けさせる。
展 開	2 資料「ビーバーのムクちゃん」を聞く。 場面状況の把握	○冬に向けてムクちゃんのお家はどんなことをしているでしょう。 ・家をごんじょうにしている。 ・食料をためている。	○ムクちゃんのお家が冬を乗り越えるために冬支度を一生懸命がんばっている状況をつかませる。
	3 課題を知る。	冬支度をしているムクちゃんの気持ちはどのように変わっていくだろう。	
	4 ムクちゃんの気持ちの変化を考える。	○最初、お手伝いを頼まれて、ムクちゃんはどんな気持ちで働いていたでしょう。 ・お手伝いは、面倒だな。遊びたいなあ。 ・木の皮はおいしいなあ。 ・木を転がして遊ぶのは、楽しいなあ。 ○お父さん、お母さんの姿を見たムクちゃんはどんな気持ちで働いたでしょう。 ・ぼくもやらなくっちゃ。 ・ぼくだけ遊んで、悪かったな。 ・がんばって、お手伝いするぞ。 ・みんなで力を合わせてやらなければ。	
開	5 自分の生活をふりかえって話し合う。	○10本の木を倒し、木の皮集めを終えた時、ムクちゃんはどんな気持ちになったでしょう。 父 「よくがんばったなあ。」 ムク・・・うん、たくさん木を運んだよ。 父 「この冬がどうなるか心配したんだよ。」 ムク・・・はじめは遊んだりしてごめんなさい。 父 「仕事をがんばってどんな気持ちだった？」 ムク・・・みんなに喜んでもらえて、うれしいな。 ○今までにお手伝いをしてよかったと思ったことがありますか。 ・カレーを作ったとき、「おいしい」とほめられてうれしかった。 ・お母さんが忙しそうにしているので、皿洗いを手伝ったら喜んでくれた。 ・学校の掃除をして、気持ちよく勉強できた。	○仕事を終えた満足感と自分のした仕事みんなの役に立っているという喜びをお父さんとムクちゃんの役割演技を通してつかませる。 ○仕事をやり遂げて得られた満足感、自分に課せられた責任を果たした喜びを、児童の生活体験を想起させながら出させる。
終 末	6 6年生からの手紙を聞く。	○6年生からのお手紙を読むので聞きましょう。	○6年生が認めてくれたがんばりからこれからもがんばっていこうという意欲を持たせる。